

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		ルシェル江端						
		公表日 令和 6 年 9 月 30 日						
					利用児童数	21人	回収数	13人
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			2		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	3	2	6	聞いたことがないため、わからない。	機会を増やしてきます。また、周知できるようにしています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	4	4	聞いたことがないため、わからない。	機会を増やしてきます。また、周知できるようにしています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3	1	1	日々の様子は伝えてくれるが、助言をもらったことはない。	日々の様子を伝えることだけでなく、助言も行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	6	3	聞いたことがないため、わからない。	機会を増やしてきます。また、周知できるようにしています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	4	1	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2			楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				満足しています。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 令和6年9月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	パーテーション使って、視覚的に遮断している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングや送迎後に、気付いたことを話し合っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部研修や外部研修を積極的参加している。	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		定期的に、支援会議をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		スタッフ全体で、アイデアを出している。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	ミーティングとしては行っていないが、気付き等をスタッフ間で共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	特定のスタッフが行っているため、全体で周知を行う。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	特定のスタッフが行っているため、全体で周知を行う。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	特定のスタッフが行っているため、全体で周知を行う。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	5	今後、増やしていきたい。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	特定のスタッフが行っているため、全体で周知を行う。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	特定のスタッフが行っているため、全体で周知を行う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	行ったことが無いため、検討していくたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルシェル江端			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日 ~ 令和6年9月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日 ~ 令和6年9月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月28日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた行事やイベント、外出行事を実施している。また、おやつ作りに力を入れている。「手作りおやつ」にこだわりを持ち、食育をはじめ、安全な調理器具の使い方や達成感を育む活動として活発に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた行事やイベント、外出行事を実施している。また、おやつ作りに力を入れている。「手作りおやつ」にこだわりを持ち、食育をはじめ、安全な調理器具の使い方や達成感を育む活動として活発に行っている。</li> </ul>
2	個性に応じた支援をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のニーズに合わせた療育の実施を軸に、日常動作訓練、創作的活動、機能訓練、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。</li> <li>ソーシャルスキルや即時反応を高める指導を行っている。聴覚や集中力、自発性、表現力などへの働きかけを行っている。</li> </ul>	外部研修や内部研修を行い、療育の質を上げる。
3	個別・集団・小集団での活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のプログラムは一つにしばらず、子どもたちが活動の選択を出来るように支援している。また、ニーズに合わせて個別活動（療育）や小集団での活動（制作や手作りおやつ）、集団（集会・ゲームなど）を通して、多様な体験が出来るように支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校授業日でも外出できるようなプログラムを検討していく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者以外の児童と一緒に活動する機会が少ない	利用者以外の児童と一緒に活動できる、場所に行くことが少ない。人員が必要なため、機会を作るのが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に活動する機会を設ける。</li> <li>地域の児童センターに行って、交流する。</li> </ul>
2	運動スペースが狭い	<ul style="list-style-type: none"> <li>曜日によって異なるが、区分によっては狭いと感じる事もある。特に高学年や思春期区分においては、運動を取り入れた集団でのゲームは、狭さを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動療育システムを使用することで、スペースの狭さを感じることなく楽しく運動できる。</li> </ul>
3	学校授業日の外出行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校休業日、学校休校日での外出行事は定期的に実施出来ているが、学校授業日の外出行事が出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下校時刻が違うため、到着時間に差がある。全体では出来なくても、小集団で出来るよう検討していく。</li> </ul>